

坂本さん「親美会」展に 力作 4 点出品

坂本さんが美術愛好仲間 7 人で結成している「親美会」の定期作品発表会が 4 月 17 日～22 日の 4 日間、東上線志木駅直結の「にいざほっとぷらざギャラリー」で開催されました。坂本さんは長瀬川(秩父)まで仲間と 1 泊 2 日で写生旅行へ行かれ、今回発表された作品を仕上げたそうです。また高校生のお孫さんが成人式を迎えられたら晴れ着姿を描くんだと目を細めていました。

昨年から新しい試みで始めた仲間の皆さんが無の境地で、気ままにアクリル板に描いた作品は多くの方の評価を戴いているそうです。

今回も雨野さんの写真展と同じ、写真大好きな幹事(匿名希望、笑)と一緒に去了したので、作品をご覧ください。



会場の隣は偶然にも昨年と同じ「芳美会」(地元のサークル)の作品展が開催されており、会場に来られて方々は両方の作品をご覧ください。「芳美会」は私事で恐縮ですが 3 年前に亡くなった画家(義弟)の教え子の会で、坂本さんとも交友がありました。これも何かの縁と驚いております。

坂本さんは会社の後輩の蒲原さん(電 38 年、等迦会事務局長、既に HP で紹介)の影響を受け、65 歳になってから絵を始められました。絵は創造力を高め、人生を充実させる素晴らしい手段だと思いました。益々健康で良い作品作りに励み、ぜひお孫さんの成人式には晴れ着姿の作品を発表されますことを祈念しております。

(記・駒米隆)



入口から会場を望む



力作4作品 左から並木道(清瀬)、長瀬ラインくんだり
向日葵、ポプラの道(札幌)



左：筆者 駒米 右：坂本さん



ポプラの道 (札幌)